

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 山田 和正

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話058-387-4141

- 1 会の名称 学校を考える会
- 2 会の構成 委員 岩佐 洋二 株式会社 岡本 常務
大橋 仁壽 株式会社 大垣鐵工所 取締役社長
羽賀 和子 地域住民代表（元育友会副会長）
柴田 正義 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長
前田 勸次 地域住民代表（元育友会会長）
(委員名は五十音順)
- 学校側 山田 和正 校長 林 忠弘 教務主任
山川 清 副校長 宮浦 英夫 生徒指導主事
松原 行雄 事務部長 牧村 高憲 進路指導主事
戸崎 晴雄 教頭（全） 川寫 俊夫 工業部長
高瀬 仁士 教頭（全）
渡邊 克尋 教頭（定）
- 3 会の目的 学校運営等について学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。そのため、岐阜県立岐阜工業高等学校に学校評議員を置く。
- 4 会の開催 平成20年 7月3日（木） 13:15～15:30 岐阜工業高等学校 校長室
委員4人と学校側9人が出席
- 5 会の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの

授業の見学

生活化学科：3年実習（有機化合物の生成）

電子機械科：1年実習（PICカーの製作）

- ・質問に対して、一生懸命に答えてくれる生徒の姿勢が好ましく感じられました。
- ・実習室が予想以上に暗く、暑く感じました。少しでも良い環境で学ばせることができればと思います。
- ・生き活きと実習に取り組む姿が好印象でした。ものづくりが好きな子にとっては、とても魅力的な学校です。
- ・こんにちはと気持ちよく声をかけてくれる生徒が多くいました。明るい学校になっていると感じました。



学校の教育現状について 報告

教育実践	学校長より	社会・地域から期待される魅力ある工業高校
定時制	副校長より	定時制教育活動全般について
教務部		職員の構成や通学区域、教育課程の特徴について
生徒指導部		身だしなみ指導、自己啓発について
進路指導部		進路状況について
工業教育部		ものづくり・資格取得状況について
特別活動部		各種大会の記録について

- ・ 様々な目的や期待を持って高校に入学しています。好きでなかった分野も興味が湧き、できるようになったと言う喜びは、その子にとって将来に繋がります。ものづくりをとおしてという教育を進めてください。
- ・ 挨拶をかけると直ぐに返ってきました。特に、笑顔で返してくれるのがいい。社会人（企業人）としての第一の素養です。このような生徒が多くなったことは、うれしいですね。小さなことからスタートしても、いつかは大きな成果につながります。そんな指導を継続して下さい。
- ・ 公共施設や機関でのマナーは、よくなってきたと思います。地面への座り込みや飲み残しなどの放置もほとんど見られなくなりました。社会の一員としての健全化への教育が実ってきたのではないのでしょうか。

工業高校に期待するもの

- ・ ものづくりに関する資格取得への取り組みは素晴らしいですね。先生方の技術習得や指導力向上への意欲にも感心します。しかし、工業界の技術は年々高度化していますので、常に新技術への勉強をして、その一端を生徒達に伝えていただきたい。
 - ・ 企業で社員のモチベーションを高めるか否かは、経営陣次第といわれます。生徒を高めるには、校長先生や先生方次第だと思います。やる気を出させるためには、根負けしない指導と最後は褒めることです。また、叱っても人格は傷つけないことを肝に銘じて対応してください。
- ・ 社会の要望として「職業教育（体験）の充実」があります。普通高校では、なかなかできないようですが、専門高校ではうまく進められています。今まで以上に実社会とうまく連携しあって、子供たちを育ててください。
- ・ 自分の将来は自分で決めて貰いたいのですが、なかなか決められないようです。父親の存在感が薄れたせいかもしれません。しかし、高校生は未熟な年代です。3年間しかありません。感情で抱きしめる、理屈で攻めるなどを織り交ぜたバランスの良い子育てを、保護者と一緒になって進めてください。
- ・ 身だしなみを整えないことは、直接、仕事に差し支えなくても、お客様に対して失礼である。という考え方を企業は持っている。一人の行動が集団全体（企業の姿）として見られることもあると教えてください。
- ・ 就職後、会社になじめない若者が多いようです。主原因は、人間関係にあるといわれます。コミュニケーション能力の育成に努めてください。

会のまとめ

工業高校生の頑張っている姿を見ていただいたとき、「単純なことだけど継続は力なりを実践していますね」、「全体に前年よりも一歩進みましたね」との評価をうれしく思います。しかし、技能向上の教育体制の確立や安心・安全な学校づくりには、これでよいという終着点はありません。

「さらなる進歩に期待します」とのご指導に、一人一人を伸ばす教育に努めることを全職員で取り組んでいきます。